



生徒と創る学びの情景

# 教室から始まるグローバル

広島県・広島市立沼田高校 <sup>なかや</sup>中谷真樹先生

イギリスの大学院に留学した経験を持つ中谷先生。様々な国から来た学生たちと交流する中で、英語には、それぞれの地域ならではの発音・アクセントや言語感覚があることを知った。そして、多様な英語を通して伝えられるそれぞれの国・人たちの価値観は、日本で育った自分のそれとは時に大きく異なることも痛感した。だから中谷先生は、教室の中に多様性が生まれるように工夫を凝らす。例えば、生徒同士が英語でやり取りする際にペアを毎回変えるのは、たくさんの人の英語に接してもらいたいから。表現活動において、できるだけ多様な考えが生徒から語られるようなテーマを設定するのは、一人ひとりが異なる考えを持った存在であることを理解してほしいから。「『一番大事なもの』というテーマで英作文に取り組んだ時、それぞれが書いた内容は『健康』『家族』から『愛用の耳かき』まで多様でした。クラスメートの新たな一面を知る機会になり、もっとクラスメートと話してみたいと思いました」と生徒。中谷先生は「授業が生徒にとって自分と他者の違いを心地よく受け止められる場になれば」と願う。中谷先生の授業は多様性に富んだ世界への入口なのだ。

**なかや・まき** 同校に赴任して6年目。2学年主任。英語科。

**広島県・広島市立沼田高校** 1985（昭和60）年設立／全日制／普通科／共学／1学年約320人／2024年度卒業生進路実績 国公立大は、広島大、愛媛大、県立広島大、広島市立大などに29人が合格。私立大は、関西大、関西学院大などに延べ389人が合格。短大・専門学校進学58人。就職6人。